

全国書店員が選んだ  
いちばん！  
売りたい本

2025年本屋大賞

# 本屋大賞

全国の書店員の投票で選ばれたベスト10  
2023年12月～2024年11月に刊行された日本人作家の小説の中で、  
書店員自身が自分で読んで、いちばんお勧めしたいと思った作品です。

## 大賞

『カフネ』

阿部 暁子 (講談社)

2位

『アルプス席の母』

早見 和真 (小学館)

3位

『小説』

野崎 まど (講談社)

4位

『禁忌の子』

山口 未桜 (東京創元社)

5位

『人魚が逃げた』

青山 美智子 (PHP研究所)

6位

『spring』

恩田 陸 (筑摩書房)

7位

『恋とか愛とかやさしさなら』

一穂 ミチ (小学館)

8位

『生殖記』

朝井 リョウ (小学館)

9位

『死んだ山田と教室』

金子 玲介 (講談社)

10位

『成瀬は信じた道をいく』

宮島 未奈 (新潮社)

# 2025

Supported by

NOLTY®

手帳ブランドNOLTY [ノルティ] は本屋大賞を応援しています。